

## 「法学叢書」刊行にあたって

「戦後」といわれ続けて、早や半世紀が経った。昭和21年(1946年)11月3日に新憲法が成立し、それと前後して各種法の制度が整備され、これらが「戦後」日本の社会的経済的発展を支える基礎となった。そして今、半世紀の間に大きく変貌した社会的経済的環境は、随所で、これら諸制度の意義や存在理由の再検討を、われわれに迫りつつある。

明治憲法時代に既に大きな蓄積をみていたわが国の法律学は、新しい日本国憲法の下で、さらに豊かな発展をとげた。また、科学技術の驚異的発達を背景とする、社会の高度複雑化と国際化に伴い、法律学の対象範囲は拡大するとともに、その専門分化が進展した。そして、21世紀への展開を目の前にして、法律学は、諸学問分野と交流を深める中で、総合的かつ原理的な視座を確立しつつ、直面する諸課題に的確に対応しうる方法と体系を編み出す必要に迫られている。

現代の法律学が抱えているこうした課題の難しさは、研究教育の場で、われわれが日頃痛感しているところである。結局のところ、われわれは、先人の労苦から生まれた貴重な知識や体系を継承しつつ、自己の置かれた歴史的環境と真剣に交わる中で、みずからの答えを見出して行くほかはない。われわれは、こうした日頃の経験と思いを同学諸氏と折に触れて論じる機会をもっているが、各自の学問的個性に応じた考え方を体系化し世に問うことが、研究教育に携わる者の責務であると考え、ここに本叢書を企画した。

平成7年(1995年)7月

編集委員

佐藤 幸治  
鈴木 茂嗣  
前田 達明  
森 本 滋

## 著者紹介

佐藤 幸治 (さとう こうじ)

1937年 新潟県に生れる

1961年 京都大学法学部卒業

現在 京都大学名誉教授

## 主要著作

「表現の自由」「集会・結社の自由」「通信の秘密」 芦部

信喜編・憲法Ⅱ人権(1)(1978年、有斐閣)所収

憲法(現代法律学講座5)[第3版](1995年、青林書院)

憲法訴訟と司法権(1984年、日本評論社)

現代国家と司法権(1988年、有斐閣)

日本国憲法と「法の支配」(2002年、有斐閣)

憲法とその「物語」性(2003年、有斐閣)

現代国家と人権(2008年、有斐閣)

立憲主義について——成立過程と現代(2015年、左右社)

世界史の中の日本国憲法——立憲主義の史的展開を踏まえて(2015年、左右社)



日本国憲法論 [第2版]

法学叢書7

2020年9月20日 初版第1刷発行

著者 佐藤 幸治

発行者 阿部 成一

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町514番地

発行所 株式会社 成文堂

電話 03(3203)9201 FAX 03(3203)9206

<http://www.seibundoh.co.jp>

製版・印刷 (株)シナノ

製本 弘伸製本

© 2020 Koji SATO Printed in Japan

☆落丁本・乱丁本はおとりかえいたします☆

ISBN978-4-7923-0672-4 C3032

検印省略

定価(本体4800円+税)